

6041

軍極秘

基防機密第三號ノ五

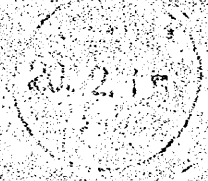
昭和二十年一月二十九日

基隆防備隊 戦闘詳報 第三號

昭和二十年二月十五日

基隆防備隊

二月一日送付



目次

一 形勢

二 經過

(1) 本隊並各機銃砲台

(2) 附屬艇

(3) 水燈隊

三 令達報告及通報

四 戰果及被害

(一) 戰果

(二) 被害(陸上方面)

(三) 被害(附屬艇)

五 消滅彈藥(陸上及附屬艇ヲ含ム)

所見

一 形勢

昭和二十年一月十五日

對空戰鬥詳報

基隆防備隊

敵機八機日來台灣本土ヲ偵察シ、殊ニ十四日ニ入り敵機動部隊ハ台灣東方海面ニ近接シ一部ハ既ニ台灣南部ヲ空襲スル等全島空襲必至ノ狀況トナレリ

二 經過

(1) 本隊並ニ各機銃砲臺

時間	時刻	記	事
一月十五日	〇八五〇	第一種警戒警報、總員戰鬥配置	友軍情況摘要
	〇九五〇	空襲警報	
	一〇一五	警戒	
		「カラマン」十三機基隆島上空	
		「カラマン」八機基隆上空ニ進入爆彈投下	
		各機銃砲台附屬艇射撃開始、擊墜三機	

一 五 天	(口) 附屬艇 特設駆潜艇揚梅丸、蘭洋丸、第百三號、第百三八號、第百三三號、特務艇八港内ニ在リテ本隊ト共ニ對空戦斗	一五三〇	第一種警戒警報解除 第二種警戒警報
		一三四四	空襲警報解除
		一一一九	基隆島沖ニ交戦中ノ米壽丸被弾ノ爲メ浸水シ燈台トニ櫓生ス
		一一一七	敵機東方ニ機影ヲ没ス
		一一五四	味方水偵敵機ト交戦万人推鼻灯台沖ニ墜落
		一一四五	敵「カラマン」三機基隆島上空更ニ三機旋回
		一〇三七	敵機四機野柳方面ヨリ基隆方面ニ向フ
		〃	敵機基隆島上空旋回中
		一〇二五	北方ニ撃退射撃止メ
		〃	機銃砲台射撃開始
一〇二〇	敵二機基隆上空ニ侵入ス		
一〇一八	敵機東方ニ撃退打方止メ		

三 台湾報告及通報

(1) 海防隊

從事(揚梅丸擊墜二機)

各特設見張所防備所及附屬防空隊ハ現地ニ於テ戰鬥ニ從事各都被害ナシ

発信名	時刻	受信	事	種別	處
高警	一四〇〇	一八二五	区侵入		
高警	一五〇〇	一八二五	台湾西海面警戒音一發令一五三七解除		
台武	一五〇〇	一八二五	台東台南地区警戒警報發令	電話	
高警	〇七四五	〇八〇〇	台湾西東海面一回警戒音一發令一五三七解除		
高警	〇八〇五	〇八二五	外輪方電探ニ〇〇度ニ〇度ニ亘リ敵機(敵哨戒機ト推定)捕捉シアリ		
高警	〇八〇五	〇八二五	高雄ノ南ニ百軒附近ニ敵機哨戒機ヲシキモノ現出敵機動員ノ出撃ノ算大ナリ		





四 戰果及被害

台軍司	一五三五	一五四〇	台灣全地区警戒警報解除
-----	------	------	-------------

(1) 戰果

月日	基隆地区	派遣隊	附屬艇	記	事
一五	擊破〇〇	擊破〇〇	擊破〇〇		

(2) 被害(陸上方面)

月日	諸施設	兵器	人員	戰死	戰傷	記	事
一五	全壞半壞	〇	〇	〇	〇		

(3) 被害(附屬艇)

月日	船艇名	場所	船體機関	兵器	戰死	戰傷	記	事
一五			〇	〇	〇	〇		



4141

五消耗彈藥(陸上附屬艇ヲ含ム)

計	十五日	月日
七〇四	七〇四	機十五銃
五八八	五八八	機十三銃
〇	〇	機七銃
〇	〇	小銃
		記
		車

所見

十シ

8141

軍機秘

基防機密第三號九六

昭和三十年二月一日

二月三日送付

基防機密印

基隆防備隊 戦闘詳報

第四號

昭和三十年二月二十日  
昭和三十年二月二十日

基隆防備隊

20.2.14

二月三日

目次

- 一 形勢
  - 二 経過
  - 三 本隊進路及戦況
  - 四 附屬隊
  - 五 派遣部隊
  - 六 命令達報告及通報
  - 七 戦果
  - 八 戦果及被害
  - 九 被害(陸上方面)
  - 十 被害(附屬隊)
  - 十一 消耗弾薬(陸上及附屬隊用)
- 所見

二月十日

- 一 形勢
  - 二 経過
  - 三 命令達報告及通報
  - 四 戦果及被害
  - 五 戦果
  - 六 被害
  - 七 消耗弾薬(第三八駆潜特務隊)
- 所見

昭和二十年二月二十一日  
 昭和二十年二月二十四日

對空戰鬥詳報  
 基隆防備隊

一、形勢

昭和二十年二月二十日以來敵大型機台灣全島ヨリ偵察シ殊ニ南部地区ニハ空襲ヲ行ヒ且台灣東海面ニ敵機動部隊ノ接近行動等ノ狀況アリ  
 特ニ警戒ヲ嚴ニシアリ

本日天候半晴午前濃霧系シ午後天候快晴

二、經過

(1) 本隊並各機銃砲臺

年月日	時刻	事	友軍情況摘要
半二 晴	〇五〇〇	基隆地区防戰警報發令機銃員總員配備	
	〇六三〇	總員配備	
	〇七三四	第一種警戒警報	
	〇八〇二	空襲警報發令	
	〇八三四	南方ニ爆音聞クモ高度高ク機影ヲ認メズ	

1220

〇八三九	敵機萬人推鼻燈台上空ヨリ侵入當隊發煙筒ヲ 使用シ船渠工場隱蔽ニ努ム
〇八四一	各砲台及附屬射擊開始
〇八四三	北方ニ擊退
〇八四八	敵小型機三機ニ〇〇度高度二〇〇〇距離五〇〇〇ニ發 見同上空ニ旋回中北方ニ去ル
〇八五五	汕洞山上空四機北東ニ進ム内ニ機逃避
〇九一〇	敵三機基隆上空侵入
//	各砲台射擊開始
//	北方ニ擊退三機擊墜(内不確実二機)
〇九一三	爆音近ツク社寮島上空
〇九五三	敵機三機基隆上空ニ進入
//	各砲台射擊開始
〇九五五	東南方ニ擊退
一三一三	空襲警報解除 第一種警戒警報取消令

一三 一五	穿撞警戒警報解除
一四 三〇	空襲警報發令
一四 三九	敵機グラマン三機基隆島上空進入旋回
一四 四〇	敵機更三十二機基隆島上空進入
〃	各砲台及附屬艇射撃開始(撃破四)
一四 四一	第十八岸壁繫留中宗像丸被彈火炎炎上
一四 五四	北東ニ撃退(撃墜二機)(基隆島附近ニ墜落落下 傘ヲ使用ス)
一四 五八	十六機編隊基隆島上空南ニ進ム
一四 五九	グラマン二機社寮島上空來襲社寮島砲台射撃開 始
一五 〇〇	東南ニ撃退
〃	野柳上空ヨリ十六機編隊萬人燈塔ノ上空ヲ東ニ 進ム
一五 〇七	敵機四機基隆島上空南東ニ進ム
一五 〇八	敵機九機東ニ進ム

(1) 附屬艇

一五二五	三機社寮島後銃陣地上空射撃開始
一五二八	台北方面射撃退
一六〇〇	八斗子ヨリ基隆上空侵入
一六〇一	射撃開始
一六〇二	野柳方面射撃退
一六一〇	敵機一機基隆島上空八斗子方面に向フ
一八〇〇	空襲警報第一種警戒警報解除

羊

特設駆潜艇揚梅丸 第三三三號駆潜特務艇ハ港内大正ドック附近ニ於テ第三三八號及第三三三號駆潜特務艇ハ港内八尺門ニ於テ本隊ト共ニ對空戦闘ニ從事ス 揚梅丸第三三三號駆潜艇撃墜三機(内子確実ニ)
---

(2) 派遣隊

各特設見張所及防備衛所 附屬防空隊ハ各現地ニ於テ戦闘ニ從事ス 蘇澳警隊ニ於テ其他人員兵密異
---

三令達報告及通報		状況	
発信者	時刻	受信	記
高警	一七〇日 一七〇日	一九三三	敵部隊(空母在否不明)高雄二七〇度二六〇哩ニアリ進行方向北東
台軍司	二一三五 〇四〇五	三〇四六 〇五〇〇	第一種警戒配備ニ就テ 成都ハ全奇宛本日〇六〇〇ヨリニ〇〇〇迄誘導電波ヲ要求セリ敵機動部隊ト蘭聯シ警戒要アリ
真頭角	〇四三〇	〇四三八	大編隊爆音南東ヨリ北東ニ向テ〇四〇八基隆島上空照明彈ヲシキモノ投下
野柳	〇四四〇	〇四五〇	敵味方不明機爆音基隆島上空
	〇四五二	〇四五八	方位三〇度距離一九料不明機急現進行方向北東感ニ
			九〇度方向信號彈ヲシキモノニ發彈着音數發
			率 種別處 置



野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	淡水	花蓮港	鼻頭角	台軍司	野柳	台軍司
0° 08' 37"	0° 08' 24"	0° 08' 23"	0° 08' 20"	0° 08' 16"	0° 08' 10"	0° 08' 08"	0° 07' 35"	0° 07' 27"	0° 05' 38"	0° 05' 00"
0° 08' 40"	0° 08' 30"		0° 08' 40"	0° 08' 30"	0° 08' 40"	0° 08' 40"	0° 07' 40"	0° 07' 40"	0° 05' 40"	0° 05' 00"
敵機三機北西(感五)	行 カラマン十八機北投ノ東高度三〇〇〇北西ニ進	新目標方位八〇度距離七〇料敵ヲシキ縮隊 進行方向北(感五)	新目標方位四五度距離五〇料敵ヲシキモノ急 現機測定進行北西(感五)	「カラマン十八機台北ノ南高度三〇〇〇」 新目標方位四五度距離五〇料敵ヲシキモノ急	方位三七〇度距離一三〇料小型縮隊北ニ進△(感五)	敵機二機北上中	B二九一機三三〇度高度五〇〇〇北東ニ遁走	基隆地区空襲警報發令	淡水方位二四〇度距離七五料敵ヲシキ大型機二機 (不明感五)	基隆地区防戦警報發令
										水中爆發ニ聴取感ニ

野	柳	〇八五八		方向ハC長距離ニシテ敵ヲシキ小型機北東ニ進ム(感五)
〃	〃	〇九二五	〇九四〇	敵機五機ニシテ距離ニ〇〇〇米ニ旋回中
〃	〃	〇九四九	〇〇〇	金山上空ヨリ敵機野柳上空ニ向
〃	〃	〇九五三	〇〇〇	草山上空敵機南ニ向
野	柳	〇〇〇〇	〇三〇	グラマン四機台北ヨリ基隆ニ向
野	柳	〇〇〇〇	〇三〇	敵機三機基隆ヨリ南東ニ向
野	柳	〇〇三九	〇三〇	敵機三機三七〇度方向ヨリ富貴角方向ニ向
台	北	一一一五	一一四三	グラマン四機基隆ニ向
〃	〃	一一三七	一一四〇	北西感五
〃	〃	一一二〇	一一四一	敵機四機四五度方向ヨリ基隆港ニ向
台	南	一一五〇	一一五五	敵機ハ洋上ニ脱去シテアリ前維南方海上ニ敵編隊アリ現在迄ハ撃破セズ
淡	水	一一五四	一一五五	敵機通過セリ濃撃セズ高角砲射撃







## 所見

一、尖山仔鼻及野柳等ノ特設見張所及防備衛所ハ露天建築物シテ本格的  
 來襲ノ受ケル場合ハ相當被害ヲ受ケ各種兵器ノ能力發揮ハ不可能ナリト  
 認メラルニ付急速墜造内ニ移轉セシムル要アリ

二、現在工事中ノ各特設見張所モ兵器及彈藥糧食等共ニ全部墜造内ニ  
 裝備格納ノ要アリ

昭和二十年一月二十四日 對空戰鬥詳報（附屬艇第三八號駆潜特務艇）  
 一、形勢

澎湖佳嶼不時着道難着救助ノ爲メ基隆水上警察署隼丸出動セルモ敵潜水艦全嶼附近ニ出沒セルニ鑑ミ救援ノ爲メ〇〇〇基隆港ヲ出港セシム

二、經過

年月日	時刻	記	事	種別	處置
二十三日	〇〇〇	基隆出港	友軍		
二十三日	〇一〇	花嶼東一五哩ニ達シタルモ隼發見スルニ至ラズ			
二十三日	〇一〇	澎湖嶼着 澎湖嶼見張所ニ連絡			
二十三日	〇一七	上空ニ爆音ヲ聞ク敵機一機來襲上仰ニ旋回ス			
二十三日	〇一八	交戦			
二十三日	〇二六	敵機撃退			

令達報告及通報

時刻受信記

事

種別

處置

戦果及被害

三八級長	三二一〇	隼丸見當ラズ澎湖佳嶼ニ向テ連絡ヲ行フ
海防司	三三〇〇	明三十四日ハ出港ニ敗途セヨ
三三八級長	〇二一七	敵機本艇ノ上空ニアリ敵大型機ト交戦中
	〇三三五	吾被害ナシ敵途ニ就ク

三十四日	ナシ
------	----

(1) 被害

月日	船艇名	場所	被	害	記
三十四日			船体機関兵	器戦	死戦傷
			〇	〇	〇

消耗彈藥(第三八駆潜特務艇)

月日	機銃	機銃	機銃	小銃	記
三十四日	機二十五銃	機十三銃	機七銃	小銃	記
	一六三	〇	〇	〇	
計	一六三	〇	〇	〇	



1732

所見